2026 年度　尾鷲市沿岸に来遊するイセエビ
プエルルス幼生および稚エビ採捕調査報告書

2026 年 11 月
尾鷲市水産農林課

方法

昨年度と同様、コレクター（改良 C 型）を設置し、週 1 回の頻度で調査を行い、2026 年 7 月 1 日から 11 月 2 日まで、合計 19 回の調査を行った。設置場所についてはこれまでと同様とし、早田漁港は堤防の灯台付近に設置し、三木浦漁港は港奥の船溜まりに設置した（図 3、5）。いずれも干潮時に干出しない深さに岸壁に吊り下げた。

調査の手順は、0.75 m×0.75 m の塩ビパイプ製方形枠にネットを取り付けた落としダモで下からコレクターを掬いながら引き上げ（図 1）、パンに海水を張り、その上でコレクターを強く振って、付着している生物を脱落させた。パンに脱落した生物を海水ごと 1 mm 目合いのザルで濾し、白色のバットに移して画像に記録したのち（図 2）、すみやかに放流した。



図 1　採集風景



図 2　採集されたプエルルス（赤丸）

結果と考察

2026 年における早田浦における採捕数を図 4 および表 1、三木浦における採捕数を図 6 および表 2 に示した。イセエビのプエルルス幼生は早田で 4 個体、三木浦で 14 個体であった。稚エビは早田で 4 個体、三木浦で 2 個体であった。

早田浦における年別採捕数を図 7、三木浦における年別採捕数を図 8 に示した。早田においては、2021 年はプエルルスと稚エビで合計 12 個体、2022 年は合計 6 個体、2023 年は合計 8 個体、2024 年は合計 2 個体、2025 年、2026 年は合計 8 個体の採捕であった。三木浦においては、2021 年は合計 17 個体、2022 年は合計 5 個体、2023 年は合計 2 個体、2024 年は合計 2 個体、2025 年は合計 8 個体、2026 年は合計 16 個体の採捕であった。

今後も調査を継続することで、プエルルス及び稚エビの採捕数と水温、藻場などの環境条件、市場の水揚げ量等との解析に必要な知見の蓄積を行う。

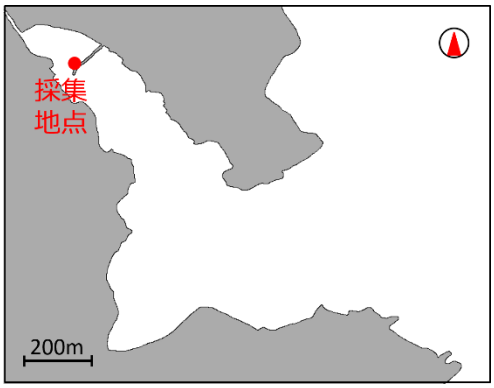


図 3　早田浦における採集地点

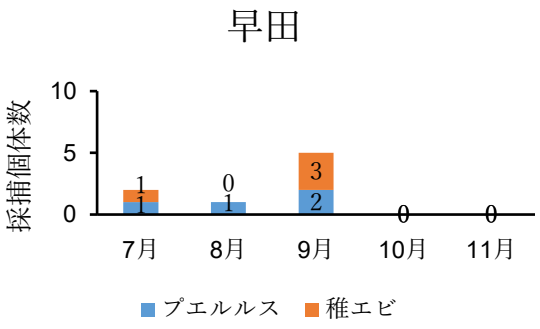


図 4　早田浦における月別採捕数

表 1　早田浦における日別の採集数

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月		
日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ
1	0	0	5	0	0	2	0	0	7	0	0	2	0	0
8	0	0	12	0	0	9	0	0	15	0	0			
22	1	1	18	1	0	17	0	1	22	0	0			
29	0	0	25	0	0	24	2	2	27	0	0			
						30	0	0		0	0			
計	1	1		1	0		2	3		0	0		0	0

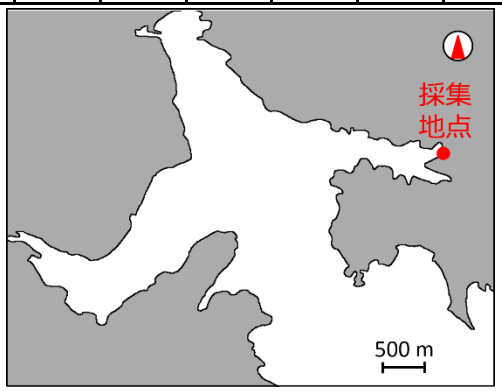


図 5　三木浦における採集地点

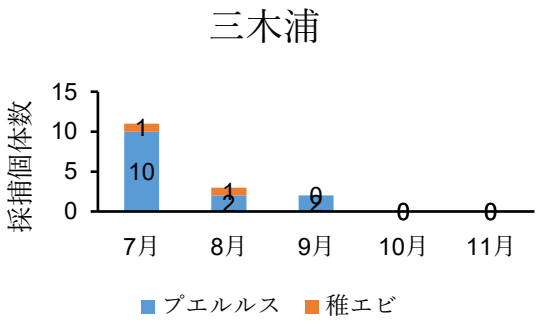


図 6　三木浦における月別採捕数

表 2　三木浦における日別の採集数

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月		
日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ	日	プエルルス	稚エビ
1	3	0	5	0	0	2	0	0	7	0	0	2	0	0
8	0	0	12	1	0	9	1	0	15	0	0			
14	3	0	18	1	0	17	0	0	22	0	0			
22	4	1	25	0	1	24	1	0	27	0	0			
29	0	0				30	0	0						
計	10	1		2	1		2	0		0	0		0	0

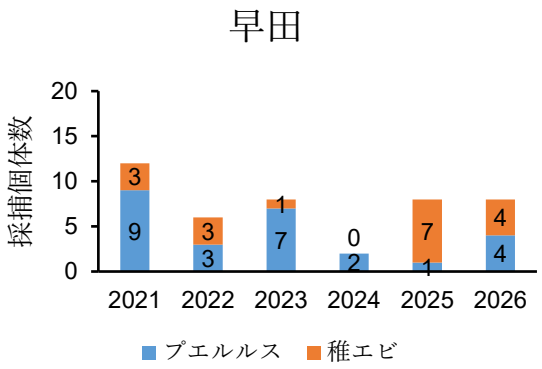


図 7　早田浦における年別採捕数

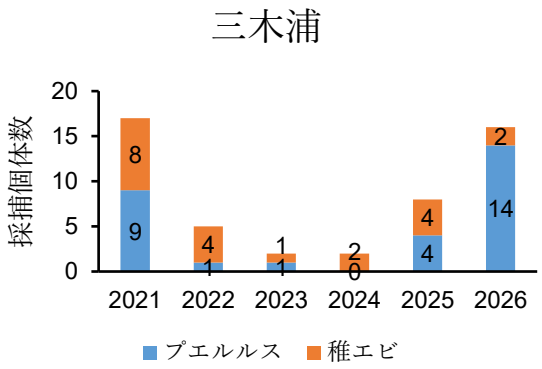


図 8　三木浦における年別採捕数